

都市再生整備計画(第3回)変更

だい き とみ おかしき
第3期富岡志岐地区

くまもと れいほくまち
熊本県 苓北町

令和2年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	レイホクマチ 苓北町	地区名	ダイキトミオカシキチフ 第3期富岡志岐地区	面積	470 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度				

目標
 大目標：富岡城から始まる歴史街道である富岡往還沿線にある文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備を行うことで、観光客と地域住民との交流を促すとともに、町民に対してまちの魅力・文化の再認識を促し、天領天草の拠点都市であった苓北町の歴史を活かしたまちづくりを推進する。
 小目標① 文化財及び歴史的観光交流施設等を一体的に整備することで、歴史を活かした観光振興を行い、観光客と町民との交流促進を図るとともに、まちの魅力について町民の再認識を促し、歴史のまちづくり運動への啓発を図る。
 小目標② これまで復元・整備を行った史跡等の広報活動と情報発信に力点を置き、各種関連事業との連携を図りながら観光客の増加を目指す。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 当地区は、雲仙天草国立公園圏内に指定された風光明媚な所であり、県指定天然記念物のハマジンチョウが群生する巴崎を始め、豊かな自然に恵まれた景観を有している。
 また、天草島原の乱で一揆軍と攻防を繰り返した富岡城、中世の天草を支配した豪族の1人志岐氏の居城であった志岐城や国指定文化財の富岡吉利支丹供養碑の他、数多くの文化遺産が存在する。
 昨今では、地域ボランティア、観光協会等を中心とした「じゃっと祭」「ペーロン大会」(平成元年～)・「ツーデーマーチ」(平成15年度～)・「初午大祭」(1673年頃から始まったとされている)等のイベントの実施や花いっぱい運動(平成9年度～)への町民参加が進められており、平成19年9月には観光客に文化財や歴史的建造物を案内するボランティアガイド協会が発足する等、文化財を活用したまちづくりの機運が高まりつつあるが、過疎化に歯止めがきかず人口減少が進んでいる。
 このような中、整備区域内の富岡港を出発地点として富岡城や天草の夕日が見える富岡海域公園、富岡の街並みをとおり志岐城跡までの「九州オルレ・天草苓北コース」が平成27年2月に新規認定され、韓国からの観光客の来訪が見られた。加えて2016年の世界文化遺産登録を目指している「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の一つである天草の崎津集落に、長崎から天草への最短コースである天草の海の玄関口となる富岡港キーステーションを観光と交流人口の拠点施設として整備することで更なる観光客の増加と地域活性化を図る。
 【これまでの事業等の経緯】
 ・平成17年度に雲仙天草国立公園内における天草下島西海岸を中心とした自然・歴史・文化を紹介する熊本県富岡ビジターセンターが富岡城跡にオープンした。
 ・高麗門や天草回天之碑(銅像4体)、下櫓の設置などの富岡ビジターセンター周辺整備の実施を行った。(平成18年度)
 ・第1期富岡志岐地区都市再生整備計画事業(平成17年度～平成21年度)で、公営住宅の整備や富岡往還サイン設置事業、富岡城跡の城内管理道路、富岡往還サイン設置、大手門公園(石垣)や志岐城跡公園に東屋・芝生などの整備を行った。
 ・第2期富岡志岐地区都市再生整備計画(平成23年度～平成27年度)では、富岡城跡に富岡で殉教し福者に列せられたアダム荒川の記念広場、出丸広場、富岡城に関する歴史資料館、角櫓や百間土手の石垣・築地塀と併せて支障電柱を移設し、景観形成に努めるとともに、志岐城周辺にトルレス神父の記念広場(芝生)などの整備を行った。
 ・第3期計画では、全体計画のうち未整備の事業を引き続き一体的に整備を行いたい。

課題
 ・富岡往還沿いの文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備が不十分であるため、観光客を惹きつける魅力が不足している。
 ・歴史的景観の維持を行うためには、民間(住民)に対しても理解と協力を得る必要があるが、文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備と各種事業との連携とPRが充分でないため、それらを繋ぐ事業の展開が必要である。

将来ビジョン(中長期)
 苓北町振興計画(ふるさと苓北未来プラン) 基本構想(平成21年から平成30年の10年間のビジョン)より
 ○「いきいきと暮らせるれいほく」
 ・交流人口の増加、観光・交流から定住への展開に向け、優れた自然や歴史資源をはじめとする既存観光・交流資源の一層の活用に努めるとともに、天草のキリスト教布教の発祥地などの歴史や農林水産業などをテーマとした新たな観光・交流資源の掘り起こしを進める。
 ○「ふるさとと呼べるれいほく」
 ・数多くの貴重な歴史文化資源を有するまちとして、歴史文化の薫り高いまちづくりを一層進めるため、指定文化財の適切な保存はもとより、キリスト教関連の埋蔵文化財の調査や発掘、復元など、有形・無形の貴重な文化財の保存と活用を進めるとともに、都市再生整備計画事業により、天草四郎一揆軍が攻め込み天草島原の乱の激戦地である富岡城跡に歴史資料館(観光交流センター)が平成27年7月にオープンするなど町内外の多くの人々が天草の中心であった本町の歴史や文化にふれあえる環境づくりに努める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
本町における主要な拠点施設(苓北町歴史資料館)の年間来館者数	人/年	苓北町歴史資料館(従前は苓北町郷土資料館)の年間来館者数	苓北町内での観光客・地域住民による交流促進状況を計測する指標を、主要な拠点施設(苓北町歴史資料館)の年間来館者数とし、現状(苓北町郷土資料館)の647人(H26)から5,666人を目標とする。	647	H26	5,666	R2
長崎・天草航路の利用者数	人/年	長崎・茂木と富岡とを結ぶ高速船を運航している苓北観光汽船株式会社の利用者数(年間)	九州オルレ天草苓北コースの出発地点である富岡港と長崎を結ぶ長崎・天草航路の利用者数(年間)を、観光入込状況を計測する指標とし、従前値の14,285人から14,942人を目標とする。	14,285	H26	14,942	R2

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1 歴史街道周辺施設の整備 富岡城から始まる富岡往還沿いにある文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備を行う。</p>	<p>地域生活基盤施設(基幹／二の丸広場整備(築地塀)、志岐城記念広場(仮称)整備、大手門広場整備(築地塀・石垣・広場・遊歩道)、富岡吉利支丹供養碑千人塚公園駐車場整備 既存建造物活用事業(基幹／富岡港キーステーション整備)</p>
<p>・整備方針2 歴史のまちづくり啓発活動 まちの魅力について町民の再認識を促すとともに、第1期から第2期までの事業で復元整備した史跡等の情報発信に力点を置き、観光客の増加を図るとともに歴史のまちづくり運動への啓発を図る。</p>	<p>まちづくり活動推進事業／歴史セミナー(歴史講座)、広報活動支援・情報発信(ホームページ作成)、まち歩きガイド作成、観光案内板・各史跡案内表示板、九州オルレ天草帯北コース整備、ペーロン体験事業、広報用ラッピング電車関連事業／歴史研修会、VISIT天草プロジェクト、天草ジオパーク、九州オルレ天草帯北コース</p>

その他

○交付期間中の計画管理

各種の事業を円滑に進めるとともに、目標の実現に向けて確実な効果をあげるため、庁内の事業担当部局と計画の進行管理、事業間の調整を行う。また、各事業の進捗状況については帯北町のホームページを始めとする広報媒体を利用し情報公開を行う。

○関連事業との連携

観光客の増加を図るため、VISIT天草プロジェクトや天草ジオパーク、九州オルレ・帯北コース、2016年に世界文化遺産登録を目指している「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の一つである天草の崎津集落、国の重要文化財の富岡吉利支丹供養碑ほかキリスト教関連史跡や関連事業等と連携を図り観光客の増加を目指す。



都市再生整備計画の区域

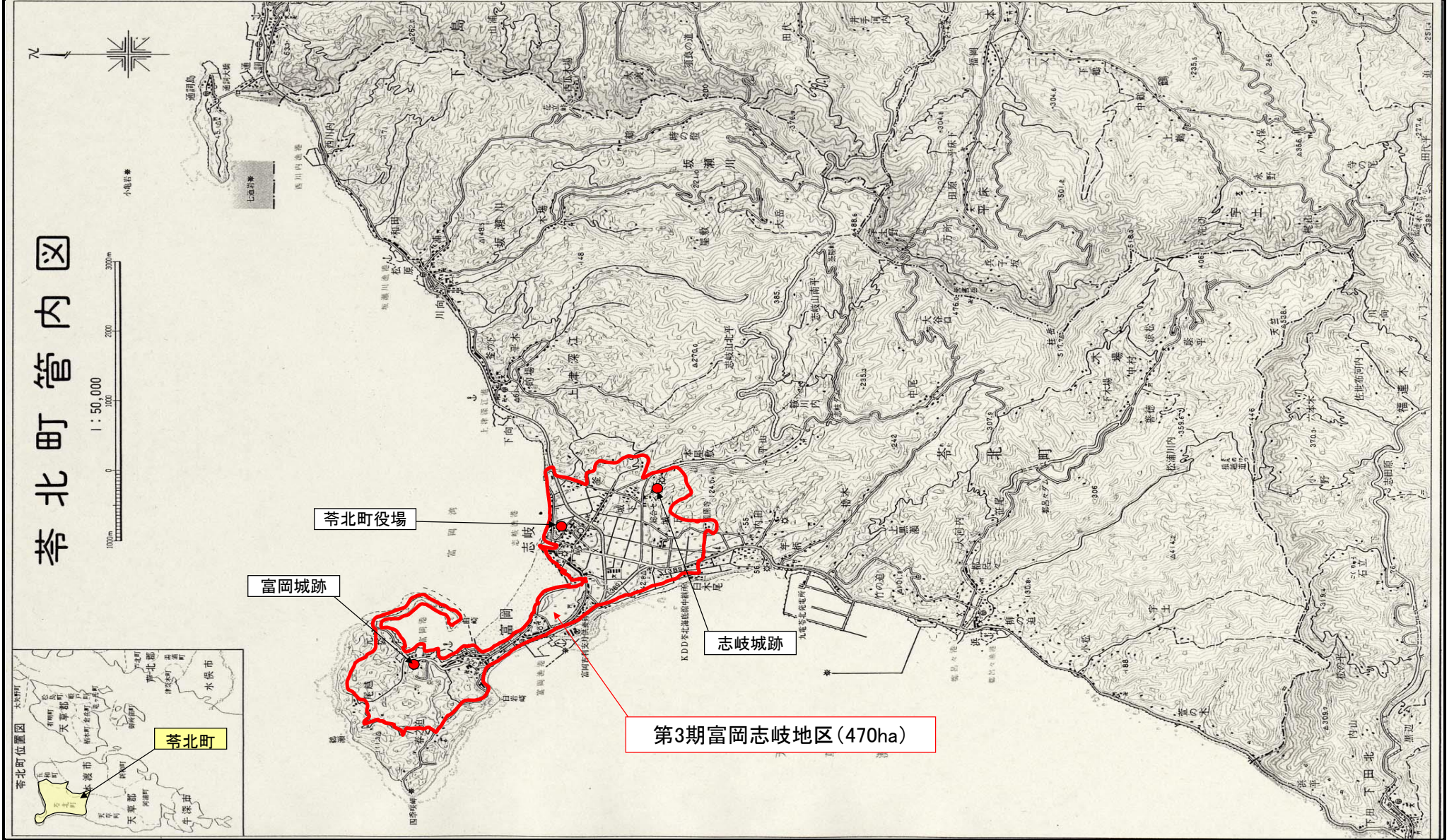
第3期富岡志岐地区(熊本県苓北町)

面積

470 ha

区域

苓北町富岡の一部、苓北町志岐の一部



第3期富岡志岐地区（熊本県苓北町）整備方針概要図

目標	富岡城から始まる歴史街道である富岡往還沿線にある文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備を行うことで、観光客と地域住民との交流を促すとともに、町民に対してまちの魅力・文化の再認識を促し、天領天草の拠点都市であった苓北町の歴史を活かしたまちづくりを推進する。	代表的な指標	拠点施設の来館者数 (人/年)	647 (H26年度) → 5,666 (R2年度)
			長崎・天草航路利用者数 (人/年)	14,285 (H26年度) → 14,942 (R2年度)

